

八月 二六 八 一一五
 九月 三五 四 一三六
 十月 二七 三 一六〇

臨時工ノ雇備期間ハ最短ニケ月最長六ケ月ニシテ、期限到來ト共ニ適當ナル者ニ對シテハ反復雇備シ居レリ、臨時工ノ労働條件ニ就テハ日給一圓七十錢乃至二圓五十錢、平均二圓ニシテ、賃銀制ニ就テハ常備工ト同一ノ待遇ヲ與ヘ、賞與（勤績、精勤、期末）及福利施設ニ就テハ常備工ト區別サレ均霑シ得ザルカ、差等ヲ附セラレルカノ孰レカニ在リ、而シテ健保ニ付テハ二ケ月以上ノ雇備者ニハ最初ヨリ加入セシメ居リ、扶助ニ付テハ法規定ヲ限度トシテ支給ス。解雇手當ハ、第一回雇備期間滿了時ニハ支給セザルモ、更改引續キ雇備シタル場合ニハ其期間滿了ニ當リテ、十四日分ヲ支給ス、（問題トナリシ名古屋トハ多大ノ懸隔アリ、臨時工トシテハ特ニ賃銀ニ就テ優良ノ部ニ屬スル待遇ヲナシ居レル方ナリ）

以上ノ如キ待遇ニテ十月末百六十名ヲ擁シタルガ、業務ノ繁忙ハ相當水増スルモノトノ見解ニヨリ（且ツ臨時工問題カ愈々問題化セントスルカ爲）去ル十一月一日一六〇名中有資格者百四十四名ヲ日給ハ其儘常備工ニ昇格セシメ、年齢ノ點、体格ノ點ニ於テ常備工タリ能ハザル十三名ヲ

十一月 雇入 解雇
 一四四名（昇格） 一三名
 三名

依然臨時工トシテ僱使シ、茲ニ神戸造船ニ關スル限り殆ンド臨時工問題ヲ一掃スルニ至リタリ。